

祝 イグ・ノーベル賞 医学教育賞受賞

内科診療部長
消化器病センター長 堀内 朗 先生



9月13日(日本時間14日)、2018年のイグ・ノーベル賞が発表され、当院の内科診療部長・消化器病センター長 堀内朗先生が医学教育賞を受賞されました。

受賞理由は、「座位で行う大腸内視鏡検査 - 自ら試してわかった教訓」。堀内先生自らのお尻で、座ったままの姿勢で大腸内視鏡検査を受ける方法を研究した成果が評価されました。

長年にわたり大腸検査の患者負担の軽減を目指し、カメラを体内に挿入することで受ける苦痛を少なくするための研究に取り組まれてきた堀内先生。アメリカ・ハーバード大学で開かれた授賞式に参加され「この賞を受賞できて大変名誉に感じます」とあいさつされました。

イグ・ノーベル賞は、最高峰の研究を表彰するノーベル賞に対して、人を笑わせ、考えさせる研究や業績に贈られる。日本人の受賞者は、2017年までに23組にのぼり、堀内先生の受賞により、12年連続で日本人が受賞することとなりました。